

※撮影時は感染症対策を万全にし、一時的にマスクを外しています。



市民参画によるシティプロモーション 石岡の魅力で幸せに 魅力発掘ワークショップ開催

市では、地域の内外に石岡の魅力を発信し、周知していく活動を進めています。5月28日、6月8日の2回にわたり市役所本庁舎で開催した「魅力発掘ワークショップ」では、東海大学の河井孝仁氏を講師に招き、石岡の魅力によって架空の人物が幸せになっていくストーリー作りなどを行いました。

今後も、関係人口の拡充や移住定住の促進につながる取り組みを行っていきます。シティプロモーションについてはこちら▶



▲市内外からの参加者と、市職員の若手プロジェクトチームのメンバーの計30人が集まりました。



▲受賞者のご紹介：(前列左から)土井政子さん、加倉井光栄さん、(後列左から)皆藤弘寿さん、福田美佐子さん、友部文子さん、永井敬司さん、(当日欠席)真家千枝子さん

健康づくり・介護予防に貢献 シルバーリハビリ体操指導士 へ感謝状が贈呈

6月20日、永年にわたり地域住民の健康づくりや介護予防の推進に貢献したシルバーリハビリ体操指導士に対し、県から感謝状が贈られました。市からは、知事賞に2人、福祉部長賞に1人、県立健康プラザ管理者賞に4人の計7人が受賞しました。

シルバーリハビリ体操指導士は、県が養成するボランティアの方々。高齢化が進む中、自らも介護予防に取り組み、互助精神に基づいた活動を行う指導士の皆さんの、今後ますますの活躍が期待されます。

目指せ！未来のサッカー日本代表 園部中1年大槻海惺さん ナショナルトレセンに選出

5月下旬に栃木県で実施された「ナショナルトレセンU-13【関東・前期】」。将来の活躍が期待される選手が各地から召集され、レベルの高い環境で選手を育成することを目的に実施されています。

そのメンバーに、鹿島アントラーズつくばジュニアユースに所属する、園部中学校1年生の大槻海惺さんが選ばれました。大槻さんは小学生の頃から県大会の優秀選手に選ばれるなど、同世代でも高い注目を集めています。これからの活躍にも目が離せません。



▲「将来はプロサッカー選手になって、日本を代表する選手になりたい」と力強く話す大槻海惺さん



▲実際に存在した小学生の話では、子供たちはより一層、真剣に講師の話聞いていました。

石岡小学校にて特別授業 弁護士による いじめ予防教室開講

6月24日、石岡小学校の6年生が弁護士によるいじめ予防教室を受講しました。

子供たちは講師より、日頃より友達へあいさつや声かけを行い、気持ちよく学校生活を送ることの大切さや、人と関わることの重要性を学びました。

受講した児童からは「思いやりの心を持ち、友達と何気ない言葉のコミュニケーションを取ることで、誰かを助けられる人間になりたい」との感想を聞くことができました。

自然の中で郷土愛を育む 恋瀬小学校の3年生が 小屋地区で総合的な学習

7月1日に行われたこの学習では、筑波大学茅葺き研究拠点（石岡市小屋702）において、石岡市地域おこし協力隊の牧田沙弥香さん・大澤泰子さんから、茅葺きの工程や構造について説明を聞きました。その後、風来里馬小屋では全員が乗馬を体験し、ソラトピア（パラグライダーズクール）では、担任の田口先生が代表でパラグライダーに挑戦しました。子どもたちは、自然の中でふるさとの魅力を全身で体感し、地域への愛着を深めました。



▲普段はなかなか見られない茅葺き民家や馬に子どもたちは興味津々。それぞれの場所でたくさんの質問を投げかけていました。



▲①丸山古墳散策、②丸山古墳での授業の様子、
③中央公民館（埴輪）見学の様子、④柿岡考古博物館見学の様子

地域の魅力を子どもたちへ 柿岡小学校ふるさと学習 柿岡の古墳を学ぶ

7月5日、柿岡小学校6年生の児童がふるさと学習の授業で、希望の場所別に3班に分かれ、柿岡の古墳について学びを深めました。

児童達は、市文化振興課職員からの説明に熱心に耳を傾け、分からないところを質問したり、タブレットを利用して写真や動画を撮影したりしていました。今後は調べたことをまとめ、発表し、他校の児童との交流を通して、地域の文化財について理解を深めていきます。